



野鳥さが

発行者：宮原明幸 編集者：馬場順一 イラスト：中村さやか

日本野鳥の会佐賀県支部



新年を迎えるためにご訪問？ アカツクシガモさん (東よか干潟/撮影:加藤芳隆さん)

野鳥さが215号 主な内容

- 役員会報告2ページ
- 愛鳥モデル校活動報告.....3ページ
- 日本野鳥の会連携団体全国総会に参加しました.....4ページ
- 有明海の満潮時刻.....5ページ
- 支部からのお知らせ6ページ
- 各地の観察会報告7ページ
- 皆さんからのおたより11ページ
- 皆さんからの野鳥&生きもの情報.....12ページ
- 最近の新聞・情報誌の記事から.....13ページ
- 近隣地区の観察会情報.....14ページ
- 観察会会場までの案内15ページ
- 観察会などのお知らせ (2018年1月下旬~3月)16ページ



役員会報告

(事務局:島田洋)

【日 時】2017年12月10日、2018年1月14日

【出席者】(12/10) 宮原明幸、青柳良子、馬場清、橋本泰博、加藤芳隆、田中丸雅雄、
島田洋 (1/14) 宮原明幸、青柳良子、馬場清、田中丸雅雄、橋本泰博、中原正義、
中村さやか、島田洋

【主な話し合い項目】 (既に終了した案件については割愛したものがああります)

(1) 全国鳥類繁殖分布調査について

- ① 1990年代に全国規模で鳥類繁殖分布調査が行われた。
- ② 2016年から2回目の調査が開始されている。
- ③ バードリサーチ、日本野鳥の会、自然保護協会、山階鳥類研究所、環境省が関わる。
- ④ 佐賀県における調査は日本野鳥の会佐賀県支部が担当する。
- ⑤ 佐賀県内の15か所が調査地となっている。
- ⑥ 2018年5月中旬から6月にかけて一回の調査を行う。
- ⑦ 今回の役員会において各調査地点の担当者を割り振った。
- ⑧ 「ルートセンサス」と「定点調査」の二つを組み合わせる数時間で行う調査である。

(2) 探鳥会保険について

探鳥会における事故に備えて(公財)日本野鳥の会では探鳥会保険を用意しているが、それだけでは不十分と思われるため、支部でも独自に保険を用意する必要がある。社会福祉協議会のボランティア保険を利用するなどの検討をしたが、最終的に損保会社と保険契約を結んだ。

(3) カラスカウントについて

2月4日午後4時から午後6時30分まで、城内公園一帯。 担当者は確保済み。

(4) その他、今後の行事予定などについての協議を行った。



愛鳥モデル校活動報告

(報告:馬場 清)



平成29年度愛鳥モデル指定校の愛鳥指導が始まりました。

【玄海町立玄海みらい学園(小中一貫校)】

①「巣箱作り」平成29年11月17日

3年生54名を2グループに分けて行いました。学童たちは金づちを持つ手も不慣れでぎこちなく、指先を打ち“痛み”を体験し、部材を間違えたり、釘を曲げたり、悪戦苦闘の連続でした。完成した巣箱をお互いに満足げに見せ合っている瞳がキラキラしていました。(指導者:青柳隆、田中丸雅雄、松原忠夫、馬場清)



②「野鳥観察会」 平成 29 年 12 月 14 日

7 年生（中学 1 年生）47 名を 5 グループに分けて実施。 その日は寒さも和らぎ絶好の観察日和でした。 双眼鏡の取り扱いの説明もそこそこに、学園周辺の海岸堤防での探鳥です。 生徒と先生の会話、生徒と我々との会話は真剣に聞き、話もして、質問も沢山ありました。 マガモ、カンムリカイツブリなどの水鳥を中心に、19 種類を確認しました。 ツクシガモやゴイサギが海面に浮いていたのは珍しい光景でした。

（指導者：佐久間仁、青柳隆、青柳良子、松原忠夫、馬場清）

【伊万里市立東山代小学校】

「ツルの分散化事業（新越冬地形成）に向けた交流学習会」 平成 29 年 12 月 2 日 鹿児島県出水市の「ツル越冬地」でツルの羽数調査（カウント）や保護活動をされている出水市立鶴荘学園（小中一貫校）中学生徒 3 名と、東山代小学校児童 63 名が、双方の校長先生、担任先生数名、環境省、日本生態系協会、日本野鳥の会佐賀県支部、伊万里市役所の協力により、ツルの分散化事業（新越冬地形成）に向けた交流学習会を開きました。 出水市立鶴荘学園はツル越冬地内で年数回、全ツルの種類と羽数調査を、朝 4 時半より行っており、交流会当日（12 月 2 日）の朝も羽数調査を行ない、その後、九州新幹線にて新鳥栖駅経由で伊万里に來られました。

- ・マナヅル 1009 羽
- ・ナベヅル 13107 羽
- ・カナダヅル 7 羽
- ・クロヅル 9 羽
- ・ナベクロヅル 5 羽
- 合計 14137 羽



調査のやり方、心配事、保護の難しさ、学業との競合、などを発表されました。

また東山代小児童も映像を見ながらカウンター（数取器）で羽数調査の難しさを実体験しました。 児童は 3 グループに分れ、鶴荘学園生徒が 1 名入って、調査のやり方、ツルの種類、エサの事、傷病ツルの取扱い方などの意見交換をして、ツルとの絆と子どもたちの絆が深くなったでしょう。

伊万里のツルの歴史と現在までの飛来数、越冬数の話を県支部馬場がしました。

ツルのデコイ、写真パネル、鳥の巣などの展示もされて、子どもたちは興味津々でのぞいていました。

帰りには長浜干拓のツル観察小屋に立ち寄り、マナヅル 3 羽を観て、夕刻の新幹線で帰郷されました。（県支部より青柳良子、田中丸雅雄、山崎章弘、馬場清が参加）



玄海みらい学園 巣箱作り & 野鳥観察会



東山代小・鶴荘学園 交流学習会





日本野鳥の会連携団体全国総会に参加しました

(報告：馬場清)

11月11日～12日に千葉市で開催された、平成29年度日本野鳥の会連携団体全国総会に参加しました。

【会場】千葉市幕張・セミナーハウス クロスウェーブ幕張

【参加者】宮原明幸支部長、普及部：馬場清

「1日目」午後1時、上原健氏（常務理事）の開会宣言があり、続いて（公財）日本野鳥の会の柳生博会長のあいさつがありました。（下記）

「一年ぶりに元気な皆様にお会いして喜ばしい限りです。各地で献身的に野鳥の保護活動や自然環境保持に尽力されておられます事に有り難く思います。また、各種調査や研究にご活躍されていることに敬意を表します。」

※講演

- ・「営巣環境による都市のカラスと森林のカラス」 松原始氏（東大総合研究博物館准教授）
大都会のカラスと里山のカラスの食性環境と行動パターン等が佐賀地域のカラスと余りにも同じ様な行動であることが判った。
- ・「最古参会員からの提言」 鈴木孝夫氏（元日本野鳥の会顧問・慶応大名誉教授）
日本野鳥の会の創設時よりご尽力されました、元顧問さんです。
90余歳の現役のバーダーです。国内各地の探鳥地を訪問し、広められ、外国でも見聞された方で、話もユーモアたっぷりで、色々な鳥の生態や研究の苦労話などの体験事、これからの若い世代へのアドバイスなどを飽きが来ない話術で話されて、興味深く、参考になりました。
- ・「連携団体における個人情報保護の注意点」 千葉茂氏（株・C/A 代表取締役）
全ての会社&団体での個人情報の保護に最大の配慮を行えば、今の情報漏れを少なくする事が出来るでしょう。

※各地区よりの財団への質問&回答

- ・送金、会員名簿の取扱い ・探鳥会保険 ・旅行業法について ・お試し会員についての質問があり、財団より回答があった。回答は省略します。

※財団からの報告

- ・メガソーラーについて ・各支部報の野鳥情報の解析 ・非会員へのDM発送についての報告がありました。

※連携団体からの提言・報告（一回目）

- ・葛西三枚洲のラムサール湿地登録と活用方法について
- ・自然エネルギーの情報



※懇親会

- 柳生会長をはじめ、本部職員、各支部の方々は地方の地酒やお土産を食べ、美味しいバイキング料理を食べて、お酒もほどほどに入り日頃の苦労話や鳥談義が遅くまで続きました。



「2日目」早朝探鳥会

6時30分よりホテルの近くの公園で探鳥会です。

安西氏の案内で例の鳥の羽根の解説、カラスやメジロの

はく製での話、参加（約30名）の皆さんは目を擦り、酒の香りの会話で大変盛り上がりのある探鳥会でした。

※連携団体からの提言・報告（二回目）

- 有明海 三池島のベニアジサシの現状、保護、対策
- 全国愛玩飼養の現状
- 沼津 小鷲頭山野鳥保護区
- 水戸市 外来種対策
- 風力発電と太陽光発電について
- 十勝スタイルの探鳥会
- チュウヒ保護区事業についての提言と報告がありました。



有明海の満潮時刻 (六角川観測塔)



※潮高 5m前後、午前9時頃からお昼頃に満潮を迎える日時を掲載しています。

	時刻	潮高 (m)		時刻	潮高 (m)
2月5日	12:25	5.1	3月6日	11:48	5.1
2月6日	12:51	4.8	3月7日	12:10	4.9
2月15日	9:28	5.0	3月17日	9:30	5.2
2月16日	10:00	5.1	3月18日	10:02	5.4
2月17日	10:30	5.2	3月19日	10:33	5.4
2月18日	10:58	5.2	3月20日	11:01	5.4
2月19日	11:24	5.2	3月21日	11:28	5.2
2月20日	11:50	5.1	3月22日	11:55	5.0

満潮時刻と潮高をたしかめてから行こう！

■ 東よか海岸

潮高 5.0m 満潮の2時間前くらいがベスト！

■ 鹿島新籠海岸他

潮高 4.0m 満潮の1時間前後がベスト！

満潮時には、残された干潟に鳥が集まり、近くで見やすい状態になります。ただし、小潮だと遠すぎるし、大潮になると干潟が水没してしまっ、鳥が移動してしまいます。)





支部からのお知らせ



◆ ようこそ 佐賀県支部へ！・・・支部入会者情報

214号(1月号)でお知らせした以降の入会者を「大歓迎！」の気持ちを含めてご紹介いたします。

12月入会 松尾 優さん(伊万里市南波多町)

1月入会 高山 昭彦さん(佐賀市諸富町)

以上2名の方の1月中旬現在でのご入会が確認されました。

(今回は支部報の発行がいつもの月よりも早かったため月末の確認ではありません。)

佐賀県支部の会員は現在217名です。

野鳥の会会員の皆様！

みなさまの周りに 花や昆虫など自然の生き物に興味・関心をお持ちの方はいらっしゃいませんか？ 観察会などにお誘いしてみてください。

野鳥の会は 「いつでも入会OK」です。



◆ 新年会のご案内

2018年がスタートして早くも1ヵ月が過ぎようとしています。

とても寒い日が続いていますが、皆さん寒さに負けず野鳥観察を楽しんでいらっしゃることでしょ。 昨年同様みんなで集まってワイワイと鳥談義をしましょう！

皆さんからのお話がこれからの支部の活動に活かされます。ご遠慮なくご参加ください。

【日時】 2018年2月3日(土) PM6:30~8:30

【場所】 「さかなや道場佐賀南口店」

佐賀市駅前中央 1-4 ☎ 0952-27-8811

【会費】 お一人 4,000円 (飲み物代も含む)

【申し込み】 できるだけ1月末までに 青柳良子さん(090-1659-7353)へ。

★たくさんの方のご参加をお待ちしています。

◆ 「肥前鹿島干潟と肥前浜宿を巡るツアー」のご案内

ラムサール条約登録地「肥前鹿島干潟」とユネスコ未来遺産に登録された「肥前浜宿」を巡るツアーです。 現地ガイドを「干潟案内人養成講座」の受講生が務めます。

【日時】 2018年3月21日(祝) 9時~12時

【受付】 8時30分 鹿島市役所前ピロティ

【定員】 20名(先着・申し込み順)

【参加費】 無料

【申込先】 平日 鹿島市役所ラムサール条約推進室 0954-63-3416

土日 鹿島市生涯学習センターエイブル 0954-63-2138

★主催 鹿島市役所ラムサール条約推進室



各地の観察会報告



■巨勢川調整池観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 12 月 10 日

【参加者】加藤芳隆、友岡周一、橋本泰博、宮原明幸、内田英丸、田中照美、吉澤進、青柳良子、千住利夫、高木義彦、高木宏子、川原直嗣、大坪紀子、高山昭彦、嶋田秀樹、高山英一、深村徹、野上駿、増田ミドリ、津山悦子、上野武美、長岡保、水田稔、大川幸子、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、カワウ、マガモ、カルガモ、オカヨシガモ、コガモ、トモエガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、ホシハジロ、ミサゴ、キジ、オオバン、ドバト、ハクセキレイ、ジョウビタキ、カワラヒワ、ムクドリ、ハシボソガラス、ミヤマガラス

【案内役より】

冷たい雨が降ってました。誰も来ないかと思ったら、次々に参加者が集まります。10時観察開始。いつもなら池の周囲 2800mを一周歩きますが、雨が降るので今回は調整池の端っこととどまっただけの観察です。池には水鳥の大群。ヨシ原の鉄塔にはミサゴがいて何か食べていました。22種類の野鳥を観察できました。雨の中の観察は30分ほどで切り上げ、縄文館の会議室に移動しました。コノハズクのはく製やヒヨドリ(?)の巣を回覧。馬場清さんからはツルに関する話題を提供していただきました。オオタカの都会進出、コウノトリの目撃情報、モズの“はやにえ”の話題など、話が弾みました。残念な天候でしたが充実した観察会になったと思います。

■東よか干潟（大授搦）観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成 29 年 12 月 17 日

【参加者】青柳隆、青柳良子、川原直嗣、陣内剛、吉澤進、中島修、中島由美子、水田稔、川部静也、内田英丸、久富文江、宮原明幸、徳淵義実、嶋田秀樹、白見ゆかり、橋本泰博、原秀親、蒲原留美、大川幸子、山中美由起、八木ひとみ、田中照美、加藤芳隆（案内役）、田中丸雅雄（案内役）

【観察された野鳥】ツクシガモ、アカツクシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、クロツラヘラサギ、ミヤコドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ダイゼン、トウネン、ハマシギ、オオハシシギ、ツルシギ、アカアシシギ、アオアシシギ、オグロシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ズグロカモメ、セグロカモメ、ミサゴ、チョウゲンボウ、モズ、ミヤマガラス、ヒヨドリ、シロハラ、ツグミ、ホオジロ

【案内役より】

潮高 5.1mでしたが、潮は予想より上がってこない。100m程先の水際には、アオアシシギ・アカアシシギがエサを求めて動き回る。アカツクシガモの情報が入り、西へ 1km歩く。シチメンソウヤードの西端で、昨冬2月以来のアカツクシ

ガモと対面する。西側にはクロツラヘラサギ・ミヤコドリも観察され、絶滅危惧種のツクシガモ・ズグロカモメが1000羽以上、数多く越冬する姿も見られました。

■小島古墳公園観察会報告（伊万里市）

【日時】 平成29年12月23日

【参加者】松尾久則、西岡勝、古賀郁香、田辺憲子、嶋田秀樹、原秀親、河口秀博、川原直嗣、水田稔、松尾憲作、中島修、中島由美子、久富文江、橋本泰博、蒲原留美（小城市）、馬場清、山崎章弘（案内役）

【観察された野鳥】カツオドリ、カンムリカイツブリ、イソヒヨドリ、イソシギ、カワウ、ミサゴ、トビ、セグロカモメ、ウミネコ、オオバン、カイツブリ、ハシビロガモ、マガモ、スズガモ、キンクロハジロ、カルガモ、アオジ、ハクセキレイ、キセキレイ、メジロ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、シロハラ、コゲラ、ウグイス、クロジ、ジョウビタキ、コサギ、アオサギ、キジバト

【参加者（馬場清さん）より】

初めての探鳥地であったが、地元の山崎さんが自信のある推奨で駐車場も広く、トイレもあり（古いが）遊歩道も整備されていた。

同公園は前方後円墳で6世紀時代のもの。小高い丘のようで、大樹木や低木もあり、以前は小島であった。その後埋め立てられて陸続きである。

周遊の海岸線でここでは珍しいカツオドリが3羽飛翔するのを固唾を飲んで眺めた。

水鳥が主と思っていたが、山野の小鳥も数多く観察出来ました。20m先の樹木に掛けたトビの巣も見られた。長浜干拓地のマナヅルは対岸に行き、おりませんでした。マガン2羽がいた。

来年からはここも定例観察地として候補にしたいね～の声も聞こえた。



（写真提供：馬場清さん）

■森林公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成29年11月26日

【参加者】青柳良子、中島修、中島由美子、吉澤進、川原直嗣、内田英丸、田中照美、中原正義、野口博、宮崎浩二、高山昭彦、水田稔、嶋田秀樹、津山悦子、上野武美、蒲原留美、長岡保、古川昌高、朝田清子、久富文江、大川幸子、島田洋（案内役）

【観察された野鳥】カワウ、カイツブリ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、オオバン、タゲリ、イソシギ、キジバト、ドバト、コゲラ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、シジュウカラ、メジロ、カシラダカ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、カササギ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ミヤマガラス、シギ科（タシギ？ヤマシギ？）

【案内役より】

森林公園は樹木が大量に失われてまるで並木道。野鳥の数も種類も著しく減って

います。そんな中での観察会でした。初めての方もおられました。ヒヨドリやセキレイは元気。嘉瀬川にはカモの群れ。カルガモ、マガモ、ヒドリガモが大半を占めます。川岸の泥岸の上にタグリの姿。参加者の人気を集めていました。ヨシ原の上を1羽の茶色っぽいシギが低空飛行。すぐにヨシ原の中に降りてしまいました。数秒間の出来事でした。タシギ？ ヤマシギ？どっちかわかりません。約2時間で観察会を終了しました。参加者の方には楽しんでいただけたようです。佐賀県支部にとっては今年最後の観察会でした。来年に期待します。来年からはここも定例観察地として候補にしたいね～の声も聞こえた。

■朝日山観察会報告（鳥栖市）

【日時】 平成30年1月2日

【参加者】宮原明幸、江口勝高、中原正義、松尾久則、千住利夫、中島修、中島由美子、川原正嗣、甲木弘美、山下哲生、田辺憲子、神内剛、古川昌高、水田稔、久富文江、古澤進、宮崎浩二、山下哲生、古賀郁香、上野武美、大川幸子、山中美由起、橋本泰博（案内役）

【観察された野鳥】アオジ、アオサギ、アトリ、イカル、イソシギ、ウグイス、カワセミ、カルガモ、キジバト、キセキレイ、クサシギ、クロジ、コゲラ、シジュウカラ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロセキレイ、ソウシチョウ、ツグミ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、ホオジロ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ルリビタキ

【案内役より】

また、あっという間に1年が過ぎて新年になってしまった。「めでたいめでたい、今年はどこへ行こう」などと思って飲んでいたら、すぐに2日だった。案内役の責任として、参加者より早く集合場所にいないかと思いき、定刻より30分前に着いたら、なんと数人の顔。去年は、出足が遅くてはらはらしたのでとても嬉しかった。集合場所の駐車場で鳥見をしながら待っていると、22名の猛者が集まってくれたのでほっとした。鳥の方も、正月だからかも知れないけれど、元気よく挨拶回りをしていて、「今日の半分くらいは見てしまったかも知れない」という声も聞こえるくらいだった。ただ、あのヤドリギにレンジャクの姿を見なかったのは残念だったかな。山道に入ってすぐの所で、ソウシチョウの群れに出会った。声がうるさいので、あんまり歓迎されない鳥だけれど、警戒心が薄くて次から次に道路まで顔を出すので、じっくりと観察でき、案内人をほっとさせる鳥だ。山道では、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリがいたところで騒いでいた。しかし、期待のウソは顔を見せず、必ず可愛い顔を見せてくれるエナガの群れにも出会わなかったのは残念だった。ところが、エナガの群れの代わりに(?)高校生の群れに出会った。新年早々、あのきつい坂道をランニングしていた。佐賀北高の野球部が訓練に出かけてきたらしかった。日本の若者は元気だった。さて、一番盛り上がったのはルリビタキだった。ツツジの茂みから飛び出したのが、近くのヤブツバキなどの木に結構な時間留まっていたので、みんなでしっかりと見

ることができた。とてもきれいな色の雄成鳥、幸せの青い鳥だった。良かった、良かった！ 川の側を通る道では、あと一つの青い鳥、カワセミに期待していた。しかし、みんなの前をあっという間に飛んでいき、見たのは一瞬のこと。惜しかった。この川では大抵コガモを見るけれど、この日は姿を見せずにカルガモが顔を見せた。どこにでもいるようだけれど、ここでは新顔だった。新年早々だったけれど、天候も良好で和気藹々とした観察会を行うことができた。また、同好の士と、このような時間を過ごすのは気持ちの良いものだと感じた。参加者の皆さん、ありがとうございました。今年も、たくさんの良き出会いがある事を祈念します。

■石井樋公園観察会報告（佐賀市）

【日時】 平成30年1月14日

【参加者】宮原明幸、吉澤進、古賀郁香、田中義一、青柳隆、田辺憲子、永島博、島田洋、長岡保、岡崎章、高木義彦、高木宏子、川原直嗣、水田稔、高山英一、福田康典、中原正義、古川昌高、馬場清、江口勝高、江口富美子、野口博、久富文江、田中照美、服部二郎、青柳良子（案内役）

【観察された野鳥】カイツブリ、コサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、バン、オオバン、コチドリ、キジバト、カワセミ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ビンズイ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、シロハラ、ツグミ、メジロ、ホオジロ、アオジ、アトリ、カワラヒワ、イカル、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

【案内役より】

水ものがたり館主催の観察会です。初めに荒牧館長から、成富兵庫茂安の業績や水ものがたり館の防災施設としての役割。付随して川や池、雑木林など野鳥にもいい環境になっていることなどのお話がありました。続いて「冬の鳥について」ということで、宮原支部長の話があって、いよいよフィールドへ！

いきなり皆さんが双眼鏡を向けたのは池の中のオオバン！ またすぐ近くの木にはアオジかと思ったらビンズイ！（目の後ろの白い点、尾を上下に振っていることで確認）ツグミ、イカル、ヒヨドリ・・・同じ所に立っているだけで、次々違った鳥たちがやって来てくれます。「進みましょうか」と促して「象の鼻展望台」へ。カモたち、サギたちを観察。ツバメが飛んでいました。越冬ツバメでしょうか？水ものがたり館で呼びかけて参加して下さった方は18名。野鳥の会会員は26名。合わせて44名でした。観察できた野鳥は29種。小さな子どもたちも5人ほどいましたので、スコープを低くして覗いてもらいました。

コチドリが寒さのためふくらんでいて、おまけにじっとしていたので、しっかり観ることができました。「マシュマロみたい！」と喜んでいました。

コチドリも夏鳥というイメージですが過去にも（2015・2016年1月）記録があります。鳥合わせのあとは「新年 紙上探鳥会」ということでクロスワードパズル（青柳隆作）をしましたが、「ちょっと難しすぎた感あり」でした。

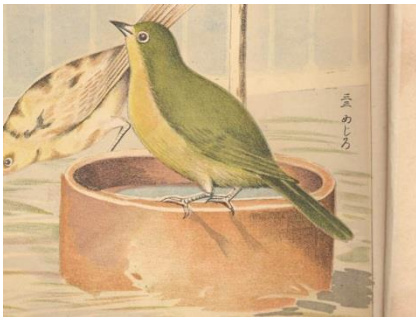


皆さんからのおたより



●「普通動物図譜の鳥たち 第6回」・・・山澤 健一さん（茨城県神栖市）

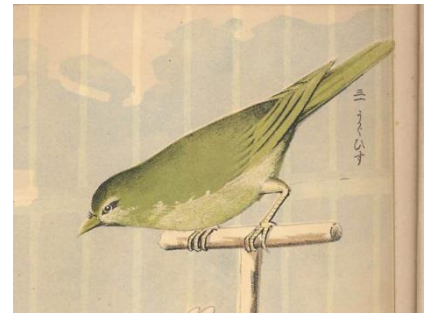
今回の鳥たちは冬によく見かけるメジロとエナガ、それにウグイスです。
 図版では背景から、ウグイスとメジロは鳥かごで飼育されているようです。
 この図譜の発行は明治40年であり、明治28年に狩猟法は制定されていますが、保護に
 関することが記されているかは判りません。



めじろ



えなが



うぐいす

●「長浜干拓のツル」・・・馬場清さん（嬉野市）

平成30年1月10日（水）に雪&雨、強風の中、伊万里市長浜干拓地へツルの監視活動に行ってきました。天気は最悪で雪が舞い散る時もあり、小雨、雪が一日中吹きすさんでございました。マナツルはいつもの親子3羽が長浜干拓と木須干拓を行ったり来たりの毎日です。この天気の中ラッキーなことに、オオハクチョウ5羽（成鳥2羽、幼鳥3羽）の飛来がありました。2時間ほどエサを探してのんびり散策です。しばらくして、今度はハラサギ5羽の飛来です。3羽は全身泥まみれの姿です。大集団（1~2000羽）のカモ類からは少し距離を置き、エサを食べている。前日はマガン3羽も来たが今日は姿が見えない。時折、ハヤブサが小鳥やカモに襲撃をかけるが捕獲には及ばない。寒い中、空腹でいるのは辛いだろうなあ〜。道路が凍結しない内に帰途につく。観察に行かれる際は「ツル監視小屋 0955-23-6770」へ問い合わせしてから訪問して下さい。



●橋間みち子さん
 （小城市）からの
 お便り → → →

今年、鳥の鳴き声で起きる。
 目覚まし時計を東京の「目録鳥
 の会」の志店お取り寄せされた。
 しかしカッコウの鳴き声では
 起きず「ジージー」というもう
 一つの目覚まし時計で起きる。
 これからは 始業時や終業時の
 合図に鳥の鳴き声の時計は
 使おうと思いました。
 今年も鳥に関するレポート
 を書きます。よろしく!!





皆さんからの野鳥&生きもの情報



■加藤 芳隆さん（上峰町）

12月17日【東よか干潟（大授搦）】アカツクシガモ（2018/1/3までは確認）
ミコアイサ♀（干潟横のクリークで確認）

12月30日【鎮西山】ルリビタキ、アトリ



アトリ



ルリビタキ



ミコアイサ

■八木 ひとみさん（佐賀市）

12月2日【富士町】ベニマシコ♀

【佐賀空港周辺】モズ、タヒバリ、オオタカ、ツグミ

12月3日【鎮西山】ルリビタキ

12月7日【東よか干潟周辺】カワラヒワ、ハシビロガモ、アメリカコガモ？

12月16日【富士町】カワガラス【佐賀市大和町】ヤマセミ

12月3日【鎮西山】ルリビタキ

12月17日【東よか干潟周辺】ミコアイサ♀【佐賀市諸富町】ユリカモメ

12月29日【佐賀空港周辺】タゲリ

2018年

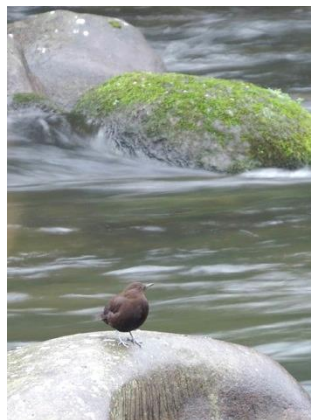
1月2日【佐賀市田布施川】カワセミ、キセキレイ、アトリ

1月13日【佐賀市大和町川上】ヤマセミ【佐賀市富士町】シロハラ

【佐賀市金立公園】クロジ、ミヤマホオジロ



オオタカ



カワガラス



アメリカコガモ？（中央）



※県外情報をいただきました。

■山澤 健一さん（茨城県神栖市）

11月20日【千葉県銚子市】オオマシコ♀
第一回冬羽。
秋の移動の途中
と思われます。



最近の新聞・情報誌の記事から

広大な水面にカモなどの野鳥が羽を休める。佐賀市金立町の巨勢川調整池

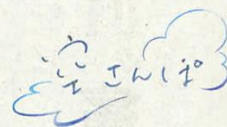


縄文の里は野鳥の楽園

巨勢川調整池

空が広い。遮る物がない約55分の敷地の真ん中に、水をたたえた調整池が広がる。池の周囲はススキやアシで覆われ、人間が近づくことはまれ。そんな環境のおかげで、一帯は70種以上の野鳥たちの楽園になっている。カモ類を中心に、多いときは数万羽が水面を埋め尽くす。ドローン（小型無人ヘリ）

が上空を飛んでも、あわてる様子を見せないのは不思議だ。



敷地をぐるりと囲む遊歩道に立てば気分爽快。1周歩いて約30分。ジョギングする人も多い。西側には池を掘削する途中

に出土した縄文時代早期の「東名遺跡」展示室もある。あわただしい日常を少しだけ離れ、8000年前の人々の暮らしぶりを想像するのも楽しい。

（中島克彦）

ウェブサイトに空撮動画



（18/1/21 付け：佐賀新聞）





近隣地区の観察会情報

日本野鳥の会本部HPにも最新の探鳥会情報
がありますよ！ → <http://www.wbsj.org/>

■日本野鳥の会 福岡支部 (参加費：会員 100 円 一般 300 円 中学生以下無料)

日時：2月4日(日)、3月4日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・今津、雨天中止 / 集合：9:00 玄洋高校北西の端道路

日時：2月6日(火)、3月6日(火) 10:00～ (定例探鳥会) **集合時間にご注意を！**

場所：春日市・春日公園、雨天中止 / 集合：10:00 旧公園管理センター前 (第5駐車場横)

日時：2月10日(土)、3月10日(土) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・大濠公園、雨天中止 / 集合：9:00 公園ボート乗り場前

日時：2月11日(日)、3月11日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福岡市・和白海岸、雨天中止 / 集合：9:00 JR 和白駅前の和白公園

日時：2月18日(日)、3月18日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：筑紫野市・天拝山、雨天中止 / 集合：9:00 天拝山歴史自然公園水上ステージ横

日時：2月25日(日)、3月25日(日) 9:00～12:00 (定例探鳥会)

場所：福津市・久末ダム、雨天中止 / 集合：9:00 久末ダムの多目的広場横の駐車場

■日本野鳥の会 筑後支部 (参加費：会員 100 円 一般 200 円 高校生 100 円 中学生以下無料)

日時：2月4日(日) 10:00～ (定例探鳥会)

場所：小郡市・花立山 / 集合：10:00 小郡市干潟の城山公園駐車場

担当：森池勝利さん 携帯：090-1873-6007

日時：2月11日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：高良山(久留米市) / 集合：9:00 久留米市御井町・高良下宮社

担当：溝田泰博さん 携帯：090-4357-3043

日時：2月12日(祝) 10:00 諫早干拓地 (企画探鳥会)

場所：長崎県・諫早干拓地 / 集合：10:00 諫早ゆうゆうランド干拓の里駐車場

担当：池長裕史さん TEL：090-1773-1896

日時：2月18日(日) 10:00 グリンピア八女 (企画探鳥会)

場所：八女市黒木町・グリンピア八女 / 集合：9:00 グリンピア八女駐車場

担当：松富士将和さん TEL：090-7159-3933

日時：2月25日(日) 9:00～ (定例探鳥会)

場所：大牟田市・延命公園 / 集合：9:00 延命公園の体育館西側広場

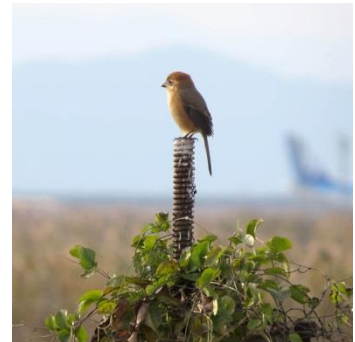
担当：中嶋秀利さん TEL：090-4480-9104

MINI BIRD GALLERY

左：ユリカモメ

右：モズ

(撮影：八木 ひとみさん)



～野鳥さが原稿募集中～

① 詩歌・句・イラスト募集！ 皆様の作品をお待ちしています。気軽にご参加ください。

② 投稿・ご意見などをお寄せください。(編集部：馬場順一)

〒841-0053 鳥栖市布津原町 61 A12-11 携帯：090-5084-2649

(Eメール) f_baba841@ybb.ne.jp





観察会会場までの案内

交通手段が無い場合は、担当者までご連絡を！

①1月28日 武雄市・宇宙科学館周辺



②2月11日 唐津市・松浦河畔公園



③2月18日 ⑦3月18日 東よか干潟



④2月18日 伊万里市・歴史民俗資料館



①2月25日 佐賀市・巨勢川調整池



⑥3月4日 小城市・小城公園





観察会などのご案内 (2018年1月下旬～3月)

①1月28日(日)

宇宙科学館周辺観察会(武雄市)

[集合&場所] 09:00 宇宙科学館近くの武雄温泉保養村駐車場(ペンションピクニック隣り)
 [担当] 坂田 紀子さん(武雄市) 090-5746-2783
 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
 [見どころ] 昨年に引き続き2回目の観察会。池のカモたち、野山の小鳥たちがお出迎えしてくれます。

②2月11日(日)

松浦河畔公園観察会(唐津市)

[集合] 9:00 同公園管理事務所前の駐車場
 [担当] 佐久間 仁さん(横浜市)
 [携帯] 090-8407-8347
 [見どころ] 山野の鳥やアシ原の鳥たち、河口付近の水門の内外でのカモの種類の変化。
 毎回40～50種の鳥が観察されます。

③2月18日(日) ⑦3月18日(日) 東よか干潟(大授搦)観察会(佐賀市)

[時間&場所] (2/18) 10:00 (3/18) 9:00
 佐賀市東与賀町の東よか干潟展望台
 [担当] 田中丸 雅雄さん(佐賀市) 080-1707-9225
 加藤 芳隆さん(上峰町) 090-4510-1560

④2月18日(日)伊万里市歴史民俗資料館野鳥観察会(伊万里市)

[時間&場所] 9:00 伊万里市松島町の伊万里市歴史民俗資料館(0955-22-7107)
 [担当] 山崎 章弘さん(伊万里市) 090-3013-3132
 馬場 清さん(嬉野市) 090-1084-3852
 伊万里市歴史民俗資料館主催の観察会。案内人が数名必要ですので、ご協力をお願いします。

⑤2月25日(日)

巨勢川調整池(佐賀市)

[時間&場所] 10:00 佐賀市金立町の東名(ひがしみょう)遺跡「縄文館」前駐車場
 [担当] 宮原 明幸さん(佐賀市) 090-2507-7085
 [見どころ] 池一周約2時間の間に、おもわぬ鳥に出会うかもしれません。東名遺跡は日本最古の湿地性貝塚。縄文館に展示されている出土品も必見!

⑥3月4日(日)

小城公園観察会(小城市)

[集合] 09:00 小城公園駐車場
 [担当] 蒲原 留美さん(小城市) 090-5294-3103
 [見どころ] 渡りの時期を迎えつつある冬鳥たちをウォッチング。レンジャク類が見られるといいですね。

⑧3月25日(日) 鬼の鼻山公園観察会(多久市)

※詳細は次号でご案内します。(野鳥さが213号に記載の内容と同じとなります)

共通事項

- ① 資料代、保険代として100円頂戴しています。
- ② 雨天中止。(前夜18:55のNHK天気予報で降水確率50%以上の場合、原則として中止)
- ③ 集合に遅れる時は早めに担当者に連絡し、会場に不慣れな場合は、必要な指示を受けて下さい。
- ④ 帽子、雨具、水筒などは適宜ご持参ください。
- ⑤ 場所や交通手段、便乗の可否などのお問合せは各担当か事務局まで。

「野鳥さが」 ～日本野鳥の会佐賀県支部 会報～
 公益財団法人 日本野鳥の会 〒141-0031 東京都品川区西五反田3-9-23 丸和ビル
 電話 03-5436-2620(代) FAX 03-5436-2636
 日本野鳥の会佐賀県支部 支部長：宮原明幸
 事務局：中村さやか (☎ 0954-60-4424 携帯：080-8863-5659)
 〒849-1315 鹿島市三河内2974-1
 郵便振替 01710-8-82339 「日本野鳥の会佐賀県支部」